



■ 地区概要

- ・地域に魅力のある3大行事（盆踊り・福祉演芸大会・ふるさとまつり）がある。
- ・子どもが主体的に参加するお祭り等の行事がある。
- ・地域福祉保健計画のスローガンが歌の歌詞になっている。
- ・地域の中に見守りができている。

■ 人口・世帯数等の概況（令和7年3月現在）

	松見地区	神奈川区
総人口	11,748人	246,217人
0～14歳	1,258人(10.71%)	25,804人(10.5%)
15～64歳	7,753人(66.0%)	166,678人(67.7%)
65歳以上	2,737人(23.3%)	53,735人(21.8%)

	松見地区	神奈川区
総世帯数	6,286世帯	136,040世帯
平均世帯人員	1.87人	1.81人
65歳以上 ひとり暮らし世帯	953世帯 (15.2%)	19,239世帯 (14.1%)



神奈川区
松見地区概況データ



レアリア かながわ支え愛プラン
(レアなエリアご近所情報サイト「レアリア」に地域活動などを発信中)



これまでの取組

- ・食事会やサロン、各種行事などが盛んに行われ、地域に根差した交流が継続しています。
- ・災害時要援護者支援やふれあい活動を通じて、いざという時に備えた取組を各地域がすすめています。
- ・地域のボランティア活動等による支え合い活動が行われており、助け合いの仕組みづくりがすすめられています。

目標と取組

顔の見える関係づくりから地域のつながりを広げ、安心・安全な松見町を目指して、3つの目標について、取り組んでいきます。

目標1 災害時の対応を充実させる

単町レベルでの自主防災組織の活動をさらに活性化させ、連合レベルでの取組(研修会、情報共有等)を検討しながら、災害時の自助・共助の仕組みをより一層充実させる。

- 災害訓練等を通じて、日頃の備えを充実させ、「自助」の意識を高める。
- 地域の「災害時要援護者支援事業」「一人暮らし高齢者地域で見守り推進事業」等の活動を通じて、要援護者の把握を行い、発災時に備えた体制づくりを整える。
- 単町ごとに「共助」が機能するよう、普段から身近な人同士、顔の見える関係づくりをすすめる。



防災訓練

目標2 支え合いの仕組みと場をつくる

ちょっとした困りごとを地域で支え合い、身近な隣近所・班の普段の付き合いから助け合える仕組みをつくる。

- 地域ニーズに沿った活動となるために、住民の困りごとに関する現状把握を丁寧に行う。
- 新たな担い手を発掘し、活動に生かせる知識を継承しながら、世代交代をスムーズにすすめていく。
- 子どもや若い世代が地域活動に参加できるように工夫をしていく。



登下校の見守り

目標3 魅力ある行事を通じて地域の絆を強める

松見地区に深く根付いた3大行事(福祉演芸大会・盆踊り・ふるさとまつり)を継承しながら、単町での魅力的な行事をさらに充実させる。

- 食事会やサロン、お楽しみ会、趣味サークル等の活動を企画・運営し、多様な世代が交流できる場づくりが提供できるよう、地域でバックアップをする。
- 行事を通して、住民が地域活動に触れる機会を増やし、松見地区への愛着を持ってもらう。



福祉演芸大会